

農地・水・環境保全だより第34号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

「第1回桑員地域多面的機能活動のつどい」を開催しました!!

平成30年2月2日（金）に員弁コミュニティプラザ集会室において、活動組織間の情報交換や意見交換を行うことで、より一層活発な活動に取り組むための機会を提供することを目的に、桑員地域で初となる「第1回桑員地域多面的機能活動のつどい」を開催しました。桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町の管内4市町の活動組織約80組織の関係者の他、管外の方々を含め、約210名の参加がありました。

主催者を代表して、いなべ市の吉田副市長にご挨拶をしていただいた後、基調講演・取組事例発表・研修・企業展示を行いました。

「基調講演」では、ガイアフロー(株)代表取締役の中村大航さんを講師にお招きし、『中山間地域におけるウイスキー蒸溜所による地域活性化の取組』と題してご講演をいただきました。静岡県の中山間地域において、地元農業従事者や、地元木材共同組合、行政等と連携し、地元産木材などの地域資源を活用したウイスキー蒸溜所を開設し、将来的には、地元での雇用創出を目指しているとお話をされました。

第1回桑員地域多面的機能活動のつどい

◆開催趣旨
今回開催するつどいは、多面的機能活動のヒントとなる情報などを桑員地域で活動する関係各位で共有するとともに、活動組織間の交流を図ることで、活動の組織的な波及に資することを目的に開催します。

◆日時 平成30年2月2日（金）
13:30～16:30
(受付開始12:30～)

◆会場 員弁コミュニティプラザ
(いなべ市員弁町楚原940)

主催者（問合せ先）

いなべ市農林工務部農村整備課 TEL: 0594-46-6304	桑名市経済環境部農林水産課 TEL: 0594-24-1205
木曾岬町産業課 TEL: 0567-68-6105	東員町建設部産業課 TEL: 0594-86-2808
桑名農政事務所 農村基盤室農村計画課	TEL: 0594-24-3826

参加希望の方は参加申込書に記入のうえ、最寄りの農会等へ（平成30年1月19日（金）まで）ご連絡下さい。



中村さんには90分間という大学の講義並みの時間でご講演をして頂き、ウイスキーを軸とした世界的な観光名所にするなど、参加者を飽きさせない講演となりました。つどい終了後には、参加した方から感銘を受けた、感動したとのお声を頂きました。時間の関係上、質問の時間を取ることができなかったのが残念です。

「管内の取組事例発表」では、木曾岬町農地・水・環境保全組織事務局の伊藤様にご講演をして頂きました。草刈や泥上げ、用排水路・道路の補修、植栽などの活動や小学生を交えての環境保全活動について、ご紹介いただきました。

「研修」は2つ行いました。

1つ目は、『いなべ市内の集落による獣害対策の取組』について、桑名農政事務所の近藤課長にお話して頂きました。獣害対策活動の事例や対策の効果と今後の取組でイノシシ・シカ・サル の現状がわかりました。

2つ目は、『活動記録・報告書の作成ポイント』について、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の山下様にご説明して頂きました。参加者の皆様には、年度活動計画の策定や資源向上活動におけるポイントについて、基礎的なことを再度確認していただくことができました。

最後に、桑名農政事務所の藤田所長のあいさつで閉会しました。

桑員地域で初めてのつどいの開催でしたが、参加者の皆さんに満足して頂いた内容であったと思われ、主催者として大変ありがたい結果となりました。次回は、さらにパワーアップして、多面的機能支払交付金事業



に取り組む活動組織の皆さんの交流と情報交換の場としていきたいと考えています。



桑員管内のみならず三重県全域からのご参加をお待ちしております。

熊野地域「大地の再生講座」を開催しました

平成30年4月25日（水）に「大地の再生講座」を開催しました。

昨年引き続き、金山パイロットファーム園地にて、造園技師で杜の学校代表の矢野智徳氏が講師となり、「大地の再生講座」の実地研修を行いました。参加者は、大地の中で滞っていた水脈を通すために、50cm程度掘った溝に炭や枝を敷き、浸透管を設置するといった実際の作業を通じて、通気排水改良の具体的な手法を学びました。

その他、実地研修では、「点穴や溝によって水脈を通すことで根が呼吸しやすくなり、葉の状態も良くなる。その連鎖反応が機能することで大地の再生に繋がっていく。」といった講義がありました。



実地研修の後、農業者等による共同活動の活性化を通じて農業の収益力向上や農地の生産性向上を図るための研修会として、多面的機能支払交付金事業に関する説明会を行いました。その中では、三重県土地改良事業団体連合会担当者から多面的機能支払交付金事務処理の注意点等の説明がありました。

今後も多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の皆様の情報交換の場となるような取り組みを推進していきたいと考えています。



多面的機能支払交付金
活動組織の広域化推進の手引き

高めよう 地域協働の力！
多面的機能支払交付金
活動組織の広域化推進の手引き
～事務を効率化し組織力を高めて共同活動を続けていこう～

農林水産省 農村振興局 整備部
農地資源課 多面的機能支払推進室

平成30年5月

近年、高齢化や農家減少などの進展により、小規模な活動組織では共同活動の継続が困難になっています。現在の活動を継続しつつ地域の共同活動による地域資源が保全管理を持続的な体制の下で行うために、活動組織の広域化の推進により活動の効率化や組織力の強化を図り、地域農業の再編が求められています。

この手引きは、活動組織及び関係機関の皆様が広域活動組織を設立するにあたっての検討及び合意形成の手順、その留意点等についてわかりやすく解説したものです。

※手引きは三重県農地・水・環境保全向上対策協議会ホームページの活動組織のための手引き等に入っています。

広域活動組織とは

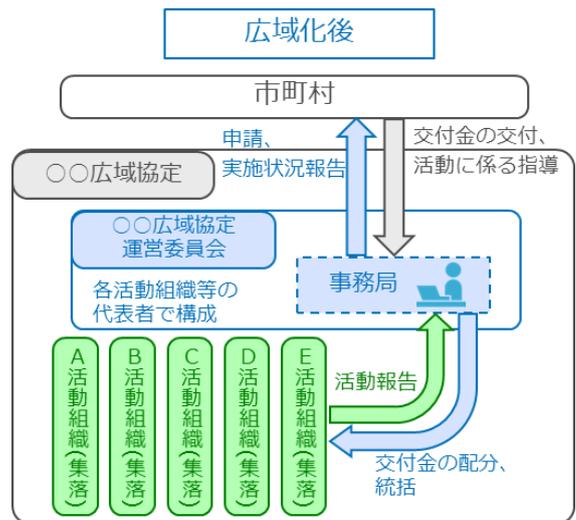
旧市町単位等の広域エリアで複数の集落又は活動組織その他関係者の協定で設立される、地域資源の保全管理を行う組織のことで

広域活動組織の体制

集落等及びその他の団体の代表者で構成される広域協定運営委員会を設置し、活動計画、活動報告、収支決算等の事項を決定します。

各集落等又は団体は、運営委員会へ年度活動計画を提出して活動を実施し、実施状況を報告します。

その中の事務局が書類作成などの事務を担うので集落は活動に専念でき、活動の活性化が期待できます。



▶広域活動組織の活動の流れ(イメージ)

広域化のメリット

- ・事務作業を事務局に集約することで、各集落の事務作業の負担を減少。
- ・事務委託や工事発注、資材や物品の購入等をまとめて行うことで、経費を節減。
- ・優先度の高い施設への予算の重点配分や、小規模集落への基礎配分による活動の継続が可能。
- ・集落間連携により、資機材、人材、技術力の融通が可能になり、活動を活発化。
- ・単独ではハードルの高い学校教育や企業との連携による取り組みが進めやすくなる。

広域化のデメリット

- ・意思決定や集落間調整に時間を要するなど機動的な対応に支障が生じる。

多面的機能支払交付金のロゴマークを記載しました！

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会のホームページのトップにロゴマークを貼りつけました。

地域協働の心、農地・水の情景に彩られた多面体が農業農村の多面的機能をあらわし、それを地域の共同活動の手が守っているというデザインです。今後の多面的機能支払交付金の活動の輪を広げていくために、積極的に活用して頂きたいと思っています。

ロゴマークの詳しい意味や使用の決まりはホームページのロゴをクリックし、「多面的機能支払交付金のロゴマークの決まり」をご覧ください。



高めよう 地域協働の力！

◎事務局からのお知らせ◎

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会のホームページが更新されました。

「三重県農地水」を検索し、「三重県農地・水・環境保全向上対策協議会-水土里ネットみえ」をクリックすると以下の画面が表示されます。



※赤字の部分が更新されておりますので確認して下さい。

多面的機能支払「第11回みえのつどい」が開催されます。

日時：平成30年12月15日（土）

場所：三重県津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター

なお、詳細は次号でお知らせします。

日頃の皆さまの活動を「たより」に紹介しますので、紹介を希望される方は事務局までどんどん投稿して下さい。

投稿先：〒514-0006 津市広明町330番地 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

TEL059-226-4824 FAX059-225-7332

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会